

IMF-世界銀行 春季会合

IMFC、一貫したアプローチに基づく金融部門の改革を要請

IMF サーベイ・オンライン

201年4月24日

- 各国代表、依然残る課題には協調的対応が不可欠と指摘
- 金融部門の規制及び監督の強化に向け継続した取り組みを求める
- 失業、公的債務の拡大、資本フローが、引き続きリスク要因に

国際通貨基金（IMF）の政策諮問委員会は、世界経済の回復を支えるため、国際金融システムの改革に、協調的且つ一貫したアプローチで取り組むよう要請した。

国際通貨金融委員会（IMFC）のユーセフ・ブトロス・ガーリ委員長は、「世界経済は回復軌道にあると思われる。最悪の事態は間違いなく過ぎ去った。しかし、我々はまだ安心することはできない。経済回復が強固になってはいるものの、回復は一様ではない。各国間・国内においてもその様相は異なっている」と述べた。

IMFCはその[声明](#)の中で、この度の世界危機の根底には金融部門の問題があったと指摘した。「金融の規制・監督・耐性の強化は引き続き実現が待たれる重要な課題である。我々は世界経済の回復を支える安定した国際金融システムのための、一貫し且つ協調的な枠組みの構築に一層の努力を払うことに合意する」

ドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事は、先進国が金融規制の抜け穴の修復というアプローチを採るならば、一貫性に欠ける規制政策の策定という危険を冒すことになり、これが連携面における新たな火種となる事態も懸念されると[警告](#)している。「ゲームのルールは大筋で統一されたものか、或いは一貫したものでなければならない」と報道陣に述べた。

ギリシャに対する国際支援に向けた動きが見られる中、一連の会議の後各国の金融界のリーダーは、世界経済の回復が強固になっている兆しは歓迎すべきだが、雇用創出の拡大やインフレリスクの抑制など、協調的な取り組みが不可欠な問題が依然として山積していると述べた。

ギリシャへの対応

4月24日に行われた記者会見においてストロスカーン氏は、現在ギリシャ政府と協議を行っており、詳細は全てが完了した時点で公表されるとの見通しを明らかにした。

また、ギリシャ国民へのメッセージに対する質問に対し同氏は、IMFの関与を心配することはないと述べた。186カ国の加盟国から成るIMFの目的は、国際社会を代表して資金を提供することである。「ギリシャをはじめ、各国には現在のIMFの姿を見てもらいたい」の同氏は述べた。

ブトロス・ガリー委員長は、新興市場国が一層発言力を持つようになったなど、IMFは近年大きな変化を遂げたと述べた。「IMFは新しい機関に生まれ変わった」と同氏は報道陣に語った。

次の段階

ストロスカーン氏は、世界が危機の第4段階に入るなかで、依然として高い失業率、[公的債務の拡大](#)、及び[新興市場国・地域への資本流入](#)の増加に起因するリスクなど、重要な課題に直面していると述べた。

同氏は、この度の危機を4段階にわけそれぞれを、1. 危機当初のパニック、2. 協調的国際対応、3. 各施策の効力の確認・安堵、そして4. 回復と再建、と位置づけた。そして世界経済がこの第4の再建の段階に突入するなかで、IMFの主要な課題である3項目に言及した。

- **金融部門改革。** 各国は規制の一貫性を確保するために協調しなければならない。「各国の金融業界の構造やその統合の状況が異なっていることから、連携といっても、全ての国で同じことを行わねばならないというわけではない。しかし、各国間の規制の差を悪用した裁定を防ぐためには、自国への影響のみならず、世界各国への影響を考慮することが肝要なのだ」。IMFは次回の会合に向け、規制改革に関する報告書を取り纏めることになっている。
- **G20参加国の相互評価。** 各国の代表は、G20各国の現政策が相互の回復を支え合うものであるかという評価の結果について報告を受けた。ストロスカーン氏は、現段階での結果は非常に「楽観できるものだ」と述べた。IMFは、6月のトロントでのG20首脳会合への提出に向け、失業並びに公的債務に関する提言などを取り纏めた報告書を作成する予定である。

- **IMFのクォータ並びにガバナンス。** 政策当局者は、IMFのガバナンス及びクォータ（出資割当額）の改革を、2011年1月までに完了すると宣言した。同改革の目的は、クォータの再分配を実施し、世界経済において新興市場国が力を増してきたという変化と整合的となることである。クォータは、IMF加盟国各国の貢献度及び相対的な議決権を反映している。

先進並びに新興市場 [20カ国グループ](#)（G20）は、ワシントンにおいてIMFCとの初の会合を行い、両者の連携の強化に努めた。また途上国からなる [24カ国グループ](#)も会合を開き、世界経済危機とその影響への対応について議論を重ねた。

[IMFC](#)は、通常年2回会合を開きIMFの活動の方針について提言を行う。IMFCは、IMFの186の加盟国を代表する総務の中の24名から（中央銀行総裁、大臣或いは同ランク）構成される。